

現代神学 第1回

現代神学のフロンティア ——多様化する潮流——

小原 克博

1

こはら かつひろ 授業担当者：小原 克博

- ・ 同志社大学 神学部・神学研究科 教授、良心学研究センター長 (2015年-)
- ・  良心学研究センター <http://ryoshin.doshisha.ac.jp>
- ・ 同志社大学 一神教学際研究センター (CISMOR) センター長 (2010-15年)
- ・  CISMOR <http://www.cismor.jp>
- ・ 京都・宗教系大学院連合 (K-GURS) 議長 (2013-15年)
- ・  K-GURS <http://www.kgurs.jp>
- ・ 京都民医連中央病院 倫理委員会 委員長 (2003-2018年)

2

こはら かつひろ 授業担当者：小原 克博

- ・ 専門はキリスト教思想、宗教倫理、一神教研究
- ・ 先端医療、環境問題、性差別などをめぐる倫理的課題や、宗教と政治の関係、および、一神教に焦点を当てた文明論、戦争論に取り組んでいます。著書に『一神教とは何か——キリスト教、ユダヤ教、イスラームを知るために』（平凡社新書）、『宗教のポリティクス—日本社会と一神教世界の邂逅』（晃洋書房）、『神のドラマトゥルギー — 自然・宗教・歴史・身体を舞台として』（教文館）、『原理主義から世界の動きが見える—キリスト教・イスラーム・ユダヤ教の真実と虚像』（共著、PHP研究所）『キリスト教と現代—終末思想の歴史的展開』（共著、世界思想社）などがあります。

3

Overview

1. 講義概要
2. 現代における神学的課題

4

1

講義概要 (シラバスより)

5

この授業では、現代世界におけるキリスト教の神学的動向について理解し、そこで提示されている課題に対する洞察を深めていくことを目的とします。

6

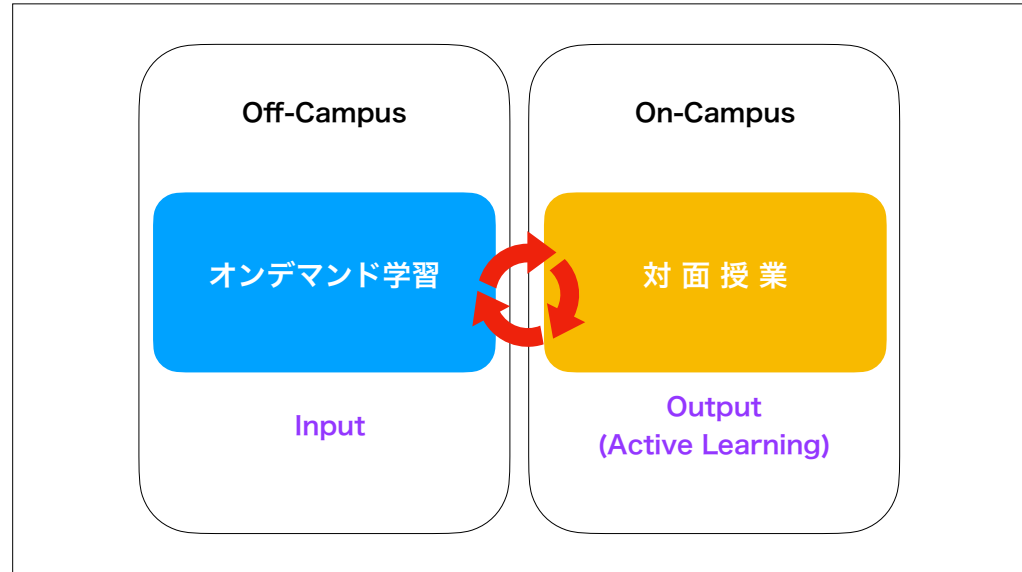
この授業はブレンディッド・ラーニングとして実施され、主体的に学びたい方のためのものです。この授業は、教室での対面授業8回、オンデマンド授業7回によって構成されています。詳しいことは初回の授業で説明します。下記「授業計画」において各オンデマンド授業に付されている日付は課題提出の締め切り日を示しています（教室での授業はありません）。都合のよい時間にオンデマンド動画で学習し、各回で示された課題を期日までにe-class（同志社大学のラーニング・マネージメント・システム）上に提出していただきます（各回とも**日曜日17:00**が締め切りです）。

7

また、学びの成果を確認し、理解を深めるために教室での対面授業を行います。教室授業は、小グループでのディスカッションと発表、全体討議によって構成されるアクティブラーニングが中心となります。この授業は、教室授業の回数が少なく、学習時間の自由度は高いですが、学習量は決して少なくありません。**リーディング・アサインメント**もあります。真剣に学びたい人のみ、履修するようにしてください。1週間に2回授業がある形になりますので、秋学期の半分で授業は終了します。

8

ブレンディッド・ラーニングの目的



教室での対面授業



1. 小原のもとで出席チェック
2. 指示されたグループ座席へ

1	9/27	(教室1) 導入
2	10/02	(オンデマンド1) 世界大戦のただ中から (1) — A. シュヴァイツァー
3	10/04	(教室2) アクティブラーニング
4	10/09	(オンデマンド2) 世界大戦のただ中から (2) — D. ボンヘッファー
5	10/11	(教室3) アクティブラーニング
6	10/16	(オンデマンド3) 解放の諸神学
7	10/18	(教室4) アクティブラーニング
8	10/23	(オンデマンド4) 終末論
9	10/25	(教室5) アクティブラーニング
10	10/30	(オンデマンド5) 宗教の神学
11	11/01	(教室6) アクティブラーニング
12	11/06	(オンデマンド6) エコロジーの神学、動物の神学
13	11/08	(教室7) アクティブラーニング
14	11/13	(オンデマンド7) 神学と良心
15	11/15	(教室8) まとめ、期末試験

1	9/27	(教室1) 導入
2	10/02	(オンデマンド1) 世界大戦のただ中から (1) — A. シュヴァイツァー
3	10/04	(教室2) アクティブラーニング
4	10/09	(オンデマンド2) 世界大戦のただ中から (2) — D. ボンヘッファー
5	10/11	(教室3) アクティブラーニング
6	10/16	(オンデマンド3) 解放の諸神学
7	10/18	(教室4) アクティブラーニング
8	10/23	(オンデマンド4) 終末論
9	10/25	(教室5) アクティブラーニング
10	10/30	(オンデマンド5) 宗教の神学
11	11/01	(教室6) アクティブラーニング
12	11/06	(オンデマンド6) エコロジーの神学、動物の神学
13	11/08	(教室7) アクティブラーニング
14	11/13	(オンデマンド7) 神学と良心
15	11/15	(教室8) まとめ、期末試験

課題提出の
締め切り日
(日曜日17:00)

20世紀前半の人類に大きな影響を与えた世界大戦は、神学の世界にも甚大な影響を及ぼしました。戦争と平和、国家(社会)と宗教の関係など、今日のわたしたちがなお考え続けなければならない課題を、A. シュヴァイツァーやD. ボンヘッファーたちの思想を通じて整理したいと考えています。

それ続けて、20世紀後半、とりわけ、1960年代以降形成されてきた、解放の諸神学(ラテンアメリカ解放の神学、黒人神学、フェミニスト神学)、終末論の新しい解釈、宗教の神学、エコロジーの神学、動物の神学など、近年の神学的潮流を、それぞれが成立してきた時代的・社会的背景と共に紹介していきます。また、同志社の伝統を生かした神学的営みとして、神学と良心の関係を考察します。

いずれの神学思想も現在進行形のものであり、必ずしも完結した体系や定まった評価があるわけではありませんが、それだけに現代神学の躍動感を伝える魅力を備えています。そして、それらはしばしば伝統的な神学の枠組みに対し、批判的な視点を持っています。それらの論点を明らかにするために、伝統的なキリスト教神学をたどっていくことも必要になるでしょう。

現代神学の扉をたたいて、共に新しい知の探求の旅に出かけましょう。

成績評価基準

オンデマンド授業での課題提出 (各回5%×7回)	35%	課題において求められていることを的確に理解し、自分の意見をしっかりと表現してください。
教室での対面授業への出席 (各回5%×8回)	40%	ディスカッションでの積極的な貢献を評価します。なお、10分以上の遅刻は出席としませんのでご注意ください。交通遅延等、不可避の事情があった場合には証明書を出していただければ考慮いたします。
期末試験 (授業内評価)	25%	授業で扱った内容の内、基本的な項目を出題します。

17

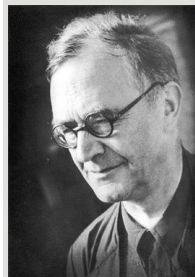
2

現代における神学的課題

18

神学とは何か？

神学は人間の現実に最も近く歩み寄り、あらゆる学問が尋ね求める真理に対して、最も明瞭な眺望を与え、「学部」という栄誉ある、深い意味を持った名前の意味するものに、最も近く歩み寄ることによって、一切の学問のうち最も美しいもの、頭と心を最も豊かにゆすぶるものである。(中略)しかし同時に神学は、一切の学問のうち、最も困難なものであり、最も危険なものである。それは、それにたずさわる人が、たちまち絶望のうちに身を果てるもの、あるいはさらに悪いと思われるのは、傲慢のうちに身を果てるもの、何よりも悪いことには、雲散霧消したり、化石化したりして、自分自身の戯画になり得るものである。(カール・バルト『啓示・教会・神学』)



19

現代神学を学ぶ意義

- ・ 「現代」とは？
- ・ 同時代性の感覚
- ・ 過去からの問いかけ
- ・ 課題の共有

20

神学とコンテキスト

〈誰が〉

〈どこで〉

〈何のために〉

〈どのような〉

神学を必要とするのか

21

現代神学の多様な潮流

- ・ 二つの世界大戦とその影響
- ・ 解放の神学
- ・ 黒人神学
- ・ フェミニスト神学
- ・ 終末論
- ・ 宗教の神学
- ・ エコロジーの神学
- ・ 動物の神学

22